



学校だより

かけ橋

パート 2

横須賀市立汐入小学校 校長室

2012. 11. 26

No. 15

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

140周年記念全校授業



11月17日には、多くの保護者の方に授業参観に来ていただきありがとうございました。1年生から6年生まで、一緒に授業するなんて、一体どうやるのだろうととても興味がありました。1年生の国語の教科書にある（横須賀では使っていない教科書です。）「春の雪だるま」という教材で、授業が行われました。

授業は、先日、諏訪小の5年生で行われた授業の流れとほとんど同じでした。それを見たとき、全校ではとても無理だと思いました。しかし、先日の授業で目の前の子ども

たちの様子を見ると、自分の考えが間違っていたことに気がつきました。

子どもたちは、何とか相澤先生のペースに追いつこうと必死で取り組んでいました。そんな子どもの姿を見て、感動したのは、私だけではなかったと思います。

その後の保護者、地域の方へのお話も、なかなか考えさせられるお話でした。私が印象に残っているのは、『話す』と『語る』の違いです。

相澤先生曰く、「話す」は「言葉を耳に届けること」、「語る」は「言葉を心に届けること」。

「大人は、子どもにいろいろなことを語って行きましょう。」とお話されていました。相澤先生あの笑顔とやさしい口調で言われると、何となく納得できてしまいます。

多くの保護者の方から、連絡帳を通して感謝の言葉をいただきました。本当にありがとうございます。子どもたちの笑顔と保護者の方の感謝の言葉が、私たち教師にとっての頑張る源です。



創立140周年おめでとうございます。中略

また、講師の先生の授業は、私も机を並べて受講した気になりました。内容も感じとる力やお互い感じたことを話し合うことにより、相手と自分との考えや思いの共通点や違いがある時は、それも感じ合えたり出来ることの大切さを改めて実感しました。

前日に、子どもと一緒に音読して、本当に良かったとまるで小学生に戻ったように楽しくなりました。

学校から帰ってきて、たくさんの記念の品（特に、下じきと紅白のおまんじゅう）は喜んで見せてくれました。

先生方をはじめ保護者の役員の方々は、ご準備で大変だったと思います。ありがとうございました。

140周年記念式典

11月17日（土）の午後、地域の方や歴代 PTA の役員の方々、教職員の皆様をお招きして、140周年記念式典を行いました。

当日は、雨模様の中、多くの方にご来校いただきました。本当にありがとうございました。子どもたちも、今までの練習の成果を見せようと張り切っていました。

祝賀会の参加人数は、181名。私たち大人でも、その人数の前で話すのは、とても緊張します。まして、子どもたちの心境を考えると、並大抵のことではないと思います。しかし、子どもたちは、がんばりました。本番が、今までで一番良かったように感じます。子どもというのは、試練を乗り越えて成長するのだと、改めて思いました。

ここに、いくつかの子どもの感想を紹介します。

式典では、あまりよくわかってなかったかもしれないけど、がんばってやりきったと思います。

最初、ひな壇に乗ったとき、少しふるえたけど、何とか乗り越えました。

最初やるとき、すごく緊張しました。手に書かなくても読めて良かったです。

2回目は、自分の近くに来ると、どっちを先に言うか分からなくなって来ました。でも、ちゃんと言えて良かったです。

最初、そんなに緊張しないかなと思ったら、本番では、けっこう緊張しました。でも、10年に1回のお祝いの式なので、一生懸命やりました。失敗しなくてよかったです。練習をたくさんしたかいがありました。家でもたくさん練習しました。何回も失敗しては、成功しました。

本番では、家の人が来たり、地域のみなさんがいたので、ちょっと早くなっちゃったと思いました。でも、自分なりにがんばれたと思います。



式典で学校の140年間の歴史を言葉や歌で振り返った
入小の全児童
|| 同校体育館

横須賀・汐入小140周年式典
「次世代へ」**存続を明言** 市教育長

統廃合も検討されていた
横須賀市汐入町の市立汐入
小学校、全間健一校長、児
童数98人の創立140周
年記念式典が17日行われ、
汐入小は学制頒布の18

市教育委員会の永妻和子教
育長は「次世代に引き継ご
う」とあいさつし、同校を
存続させる意向を示した。

今回、運動会
に続き、またま
た神奈川新聞
に取り上げて
いただきました。
J:COMチ
ャネルでも
放映されまし
た。

こういった
ことも、子ども
たちに自信や
誇りを持たせ
るきっかけに
なるのではない
かと思いま
す。

72（明治5）年に創立
豊島小とともに市内最古の
伝統校だ。式典で、子ども
たちは「今も昔もこれから
も輝き続ける汐入小」と全
員で声を合わせた。

市内では4年前から統廃
合で小、中学校各2校が減
り、汐入小についても学校
地域や保護者による検討協
議会や議論したが結論は出
ず、協議会は2年以上、休
止したままになった。

この間、学区内に大型マ
ンション建設が進み、市教
委は3、4年先に児童数は
120〜130人に増える
と推計。これが追い風にな
り、前汐入連合町内会長で
同校評議員の山口久子さん
は「汐入小は防災や行事に
なくてはならない地元の拠
点。学校存続は町内会みん
なの願い」と訴えている。

取材に対し、永妻教育長
は「統廃合などの検討は東
日本大震災以降、小規模校
だからというだけでなく、防
災の観点も必要になった。
地元の思いもあり、廃止で
突っ走ることはない。20
13年度以降、汐入小が
対象になっている。適正規
模・適正配置計画を見直し
たい」と述べた。

（横須賀支社）